

# お福公民館だより

令和 8 年 3 月号 vol. 428

於福公民館 美祢市於福町下 2848 番地 1

TEL:56-0001

FAX:56-0044

mail:ofuku@city.mine.lg.jp



於福公民館 HP



まなぶ・つどう・むすぶ

## おいでませ公民館



### 新年を祝う会

1月17日(土)、新年を祝う会を開催し、33人が参加。普段からよく会う人、久しぶりに再開する人など様々。お酒や料理を楽しみながら、交流を深めました。



河村 希岳さんによる詩吟



毎年1月第3土曜日に開催しています。今回は都合が合わなかった方も、次回はぜひご参加ください。

### 於福町民講座

1月14日(土)、於福町民講座「手作りパン教室」を開催し、17人が参加。今回はヒョウ柄のパンづくりに挑戦。白、濃い茶色、薄い茶色の3色の生地を使いました。



棒状にした生地を積み重ねて牛乳パックに詰め、オーブンに入れて焼いていきます。焼きあがったパンを切ると、ヒョウ柄が出現！参加者からは「おお！」と歓声があがっていました。



### 元気に成長中です

地域の方が公民館前の花壇に蒔かれた菜の花が芽を出しています。また、桜の木の枝にはたくさんの蕾が。4月上旬には桜と菜の花の共演が楽しみです。



### 本の入れ替えを行いました

2月下旬、図書館から団体貸出を受けている図書の入れ替えを行いました。子供向けの絵本から大人向けの小説、自己啓発本まで様々。ぜひご利用ください。



ずーと昔のことである。於福に「台山の長者」と呼ばれていた金持ちがいた。近くには、長者の持っている鉱山や鉄山があり、鉱石を掘り出すため多くの人々が働いていた。鉱山は栄えていたので、人々はいつもせわし気に働いていたのである。

台山は、なだらかな石灰岩の台地であったため、水が不足がちであった。ことに鉱山の掘り出しには多くの水が必要であったので、代のふもとを流れる川まで汲みに行かなければならなかった。ふもとから山の上に水を運ぶのは大変な苦勞であった。

ある年のこと、ひどい長雨が降り続いた。それは近年にない雨であった。雨の降る間は台上から水が流れて、仕事はできなかった。ねばりけのある赤い土がぬかるんで、足元が悪くなり、水を汲み人たちはたいそう困った。

「なんと、すべってやれんのう！」

「わらじに赤土がまぶれついて、すべりこけるぞ」

「きいつけて歩きさい。水をこぼすとまた引き返して、水を汲まんにやならんからの。二度手間じゃ」

人々は、ただでさえ苦勞の水汲みであるのに、切り立った台山の端の道を、しかも曲がりくねって歩きながら、水を運ばなければならなかった。人びとは、一日の水汲みで閉口してしまった。

「長者さま、道がすべって困ります。おまけに水たまりがたくさんできていて、これじゃ水汲みはとてもやれません」

長者は、

「そりゃ困りじゃの。それじゃ、米倉から米袋を出して、水たまりに投げこめ。そんならよかろう」

と、こともなげに言った。

「長者さま、そねいなことをしたら、ばちがあたりますどな」と、人々は面食らってしまった。しかし長者は、

「えーい、かまわん、米はなんぼ一でもある」

とばかり、下男を読んで倉を開けさせ、米俵を水たまりになげこませた。

「よーし、米俵を踏んで、水を汲んで来い」

そこにはおごりかぶった長者の姿があり、人々に命令を下すその顔は引きつって見えた。人々はたじろいだ。米俵を土足で踏んづけ歩くことは何としてもできかねた。半分足をかけて引っ込めた者もいた。

「何をしちよる。さっさと水を汲まんか」

「お前たちが難儀しちよるというから、米俵で通りやすいようにしてやったのではないか」

長者はなおも叫び続けた。ついに人々は、米俵を踏んで水汲みに出かけた。するとどうであろう。米俵に巣を作っていた蜂が飛び出してきた。その数は、何万何千と数え切れぬものであった。群れは尾空に舞い上がって、いずこともなく飛んで行ってしまった。それは夕方まで続いた。

ついに、一匹残らず飛び立っていった。人々は我を忘れて、その大群を眺めていたのであった。その年、鉱山の鉱石は急になくなり、長者一族は死に絶えてしまったということである。



【山口県広報連絡協議会編「ふるさと紀行」より】

### 3月行事予定



2日	月	吹矢おふく	於福公民館	13:00~
5日	木	於福元気クラブ	於福公民館	10:00~
6日	金	於福教場	於福公民館	13:30~
12日	木	令和8年度ボランティアのつどい	於福公民館	10:00~
16日	月	吹矢おふく	於福公民館	13:00~
18日	水	於福寿大学	於福公民館	10:00~
19日	木	於福元気クラブ	於福公民館	10:00~

### 於福地域の人口・世帯数

世帯数:689 世帯(-1)

男性:534人(±0)

女性:678人(-1)

合計:1212人(-1)

※令和7年12月末現在、( )内は前月比